

「保健」	教科	保健体育	単位数	1単位
	学科、学年、組	全科、2学年、全組		
使用教科書	「現代高等保健体育改訂版」(大修館書店)			
副教材等	「現代高等保健体育ノート改訂版」(大修館書店)			

1 科目のねらい(目標)

学習の到達目標	<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
---------	--

2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点について各観点の割合を基に評定(5段階)で評価します。

評価の観点及び内容		観点の割合	評価方法
知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	40%	・定期考査 ・プリント等
思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	30%	・定期考査 ・ノート、プリント等
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。	30%	・ノート、プリント等 ・授業の取り組み状況等 ・提出物

3 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
I	生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康	・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。
	2 思春期と健康	・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。
	3 性意識と性行動の選択	・性意識の男女差について例をあげて説明できる。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。
	4 妊娠・出産と健康	・妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。

	5 避妊法と人工妊娠中絶	<ul style="list-style-type: none"> ・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。
	6 結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。
	7 中高年期と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。
2	8 働くことと健康	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 ・働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。
	9 労働災害と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 ・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。
	10 健康的な職業生活	<ul style="list-style-type: none"> ・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。
	11 さまざまな保健活動や対策	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりのためのさまざまな活動、民間機関や国際機関などの保健活動について総合的に考え、判断し、それらを表している。
	健康を支える環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。
	1 大気汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。
	2 水質汚濁・土壌汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。
	3 環境と健康にかかわる対策	<ul style="list-style-type: none"> ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 ・産業廃棄物の処理について説明できる。
	4 ごみの処理と上下水道の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。
	3	5 食品の安全性
6 食品衛生にかかわる活動		<ul style="list-style-type: none"> ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。 ・食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。
7 保健サービスとその活用		<ul style="list-style-type: none"> ・保健行政の役割について例をあげて説明できる。 ・保健サービスの活用の例をあげることができる。
8 医療サービスとその活用		<ul style="list-style-type: none"> ・わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 ・さまざまな医療機関の役割について説明できる。
9 医療品の制度とその活用		<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の正しい使用法について説明できる。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。

	10 さまざまな保健活動や社会的対策	<ul style="list-style-type: none">・国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。
	11 健康に関する環境づくりと社会参加	<ul style="list-style-type: none">・健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。・環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。